



Top Headline

急拡大する アジアのPPP展開

アジアPPP研究所のビジョン、 実績と活動計画

2012年夏号

アジアPPP研究所ニュースレターをご覧ください。本ニュースレターでは、アジアPPP研究所の活動の様子や世界の最新のPPP情報を提供します。アジアPPP研究所は、2011年11月の設立から約半年たち、順調に活動を展開しています。

本ニュースレターは、年4回の発行を予定しています。創刊号となる2012年夏号では、これまでの活動と、設立一周年に向けた活動計画、将来展望、会員向け活動の内容をご紹介します。

アジアPPP研究所は、初年度の活動においてフィリピン、マレーシア、ベトナムのほか、国連欧州経済委員会と連携してPPPの普及拡大のための活動を実施しています。

一例を挙げますと、フィリピンでは、ミンダナオ島のブトゥアン市において、PPP導入による経済開発の可能性調査を昨秋に実施し、とそのフォローアップ研究、さらに今年3月には現地の自治体関係者(ブトゥアン市PPPユニット)、民間企業、大学関係者等を対象に、PPPの導入やプロジェクト企画に必要な基礎知識を提供するための集中講座を行い、ブトゥアン市のPPP候補プロジェクトの検証なども行いました。

アジアPPP研究所は、アジアでのビジネス拡大、アジアの経済発展に貢献する幅広い機会を会員の皆さんに提供します。皆様のご参加をお待ちしています。



アジアPPP研究所設立記念の特別国際PPPフォーラムで
名誉アドバイザーに就任したマハティール元マレーシア
首相(左)と塩川総長(2011年11月15日)

本号の内容

アジアPPP研究所の

初年度の活動にあたって

成長、関係構築、知識共有の一年

by アジアPPP研究所所長 サム田淵

P 2

PPPがもたらす市民生活の向上

by ゲイリー・ミラー

P 3

アジアPPP研究所の今後の活動予定

P 4

Contact us:

東洋大学アジアPPP研究所
〒100-0004
東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル 1階
東洋大学大手町サテライト

TEL: 03-3231-1021
Email: ml-ppp@toyo.jp
http://www/apppi.net



アジアPPP研究所の 初年度の活動にあたって 成長、関係構築、知識共有の一年

アジアPPP研究所所長 サム田渕

東洋大学アジアPPP研究所へようこそ。

アジアPPP研究所 (APPPI) は、2011年11月15日に設立されました。APPPIの名誉アドバイザーには、本学の塩川正十郎総長とアジアのリーダーを代表する人物であるマハティール元マレーシア首相が名を連ね、様々な課題に取り組みながらアジアの経済発展を成し遂げることを目指しています。東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻 (PPPスクール) やPPP研究センターで培ったノウハウを活かし、アジアの経済発展に寄与する所存です。東洋大学が創立125周年を迎える今年、このような飛躍の機会を得ることができたことを喜ばしく思います。

アジア開発銀行の試算によると、アジアで今後10年間に見込まれるインフラ整備には8.3兆ドルが必要とされています。ところが、アジア開発銀行や世界銀行、国連、各国の政府が公的資金で賄うことができるのは5000億ドル程度とされます。すなわち、7.8兆ドルもの多額の投資が、公的機関ではなく民間企業によって行われることが求められているのです。同時に、アジア開発銀行は、アジアには今後15年間で11兆ドルの経済成長の可能性があると試算しています。

APPPIは、教育研究と(日本企業の)海外PPPプロジェクト進出支援を二つの大きな柱として活動を展開します。教育研究活動では、PPP集中講座の開講、受託研究等の実施、ウェブサイトやニュースレターを通じた情報提供を行います。また、主に会員向けの活動として実施するワークショップやレクチャーの他に、国際PPPフォーラムや公開セミナー等、非会員の方向けのイベン

トも開催し、より多くの方に参加の機会を提供していくこととしています。

APPPIの教育活動の特徴は、理論だけでなく実務、実際のプロジェクトの実施を重視したアプローチをとっている点にあります。APPPIは、アジア圏内の各国政府、地方自治体に対して、PPPの枠組みづくり、人材育成、PPPプロジェクトの企画・評価手法の教育も行っていきます。同時に、APPPIの賛助会員に対しては、希望する地域や分野に沿ったプロジェクト情報の提供やプロジェクトの実施にあたってのテクニカルアシスタンスを実施します。

また、これまでPPPスクールが実施してきた「地域再生支援プログラム」をアジア圏内の国、自治体との連携で実施します。この地域再生支援プログラムは、東洋大学PPPスクールの院生や修了生を始めとしたPPPのプロフェッショナルが各国の自治体を訪問し、PPPのプロジェクト実施可能性の調査や、その実現手法の研究を行うものです。

APPPIは現在、日本の他にフィリピン、マレーシア、ベトナム、キルギス共和国で活動を行っています。今後も、各地の要望を受けて、活動を拡大していく計画です。

APPPIは、アジア中のPPP専門家と関連機関のネットワークを構築していきます。また、アジアに拠点を構え、活動の機動性を高めていく考えです。



PPPがもたらす 市民生活の向上



By ゲイリー・ミラー

公民連携 (Public-Private Partnership、PPP) は、世界中に拡大しています。PPPは、中央政府、州や県などの広域自治体、市町村にとっての効率化と公共サービスに対する高まる需要に対応するために使われています。多くの国は、人口の急激な増加に伴い、電力、高速道路、上下水道、空港、ヘルスケアなどの幅広い分野で新しいインフラの整備が求められているものの、これらの需要は多くの公的機関の財政力、技術力をはるかに上回ってしまっています。きっちりとした計画と(法制度などの)基盤の基に実施されるのであれば、PPPは各国や自治体が国民、市民の期待に応えるための唯一かつ最強の選択肢となるでしょう。

PPPとは？

端的に言えば、公民連携 (Public-Private Partnership) 略してPPPとは、公的機関(政府機関)と民間企業との間での契約による合意に基づく連携のことを指します。民間企業は、提供する公共サービスに応じて報酬を得ています。

官と民のパートナーの親密な連携が PPPの成功の鍵

ビジネスや普段の生活における人間関係と同様、PPPの成功のためには、協調して共に働く姿勢が重要です。PPPでは、官と民が共通のゴールを設定し、お互いの期待の整合を図り、緊密に連絡を取り、しっかりと業務を遂行し、継続的な向上のために絶え間なく努力することが重要です。

PPPは市民生活の向上をもたらします

PPPは世界中の何百万と言う人々の生活の向

上に役立ちます。さまざまな分野で行われているPPPプロジェクトの大半は成功を収めており、プロジェクトを実施した政府やその地域の人々の生活に以下のような利益をもたらしています。

・**コスト削減**: 多くのPPPは、公共機関にとってコスト削減に繋がります。場合によっては、30~50%ものコスト削減が可能です。

・**新技術**: 民間企業は、よりよい成果を求めて新しい技術を導入します。

・**効率性の向上**: 民間企業は、経験と創意工夫によって常に効率性の向上を図っています

・**民間投資**: 民間企業はプロジェクトファイナンスを提供し、財政難の政府に対しソリューションを提供します

・**工期の短縮**: 民間企業が設計・施工・運営を総合的に行うことで、設計・建設にかかる工期を最大5割程度短縮できます。

・**経験豊富な人材**: 経験豊富な人材により、民間企業は一流のサービスを提供することができます。

ゲイリー・ミラー氏略歴

アメリカの大手エンジニアリング会社で30年以上の経験を持つ。上下水道を中心に北米、中南米、ヨーロッパ、中東、北アフリカで多くのプロジェクトを実践している。プロジェクト提案に携わった数は100近い。2006年には、米・ジョージア州サンディ Springs市を始めとした市役所業務の包括民営化に携わった。現在は日本に在住し、東洋大学で教鞭をとりながら、日本企業の海外PPPプロジェクト進出の支援を行っている。

アジアPPP研究所今後の活動予定

アジアPPP研究所は、2012年度の活動として会員向けのレクチャー、ワークショップ、海外での集中講座等を開始しました。PPPの専門家である公民連携専攻の講師陣やAPPPIのスタッフが、数時間から数日間の講義を担当しています。これらの活動は、それぞれのテーマごとに特定の目的、ターゲットを設定してより充実した内容となるよう努めています。

各活動の内容は以下の通りです。

PPP集中講座

集中講座は、アジア圏内の国、自治体、企業等の要請に応じて、現地でPPPの基礎知識、PPPプロジェクトの企画・組成手順、プロジェクトの評価手法などを短期間で講義するものです。東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻の講師陣が作成した教材と、現地の提供資料を基に、それぞれの国、地域の実情に合った講義を行います。特に、新興国・途上国で遅れている自治体レベルでのPPPのプロジェクト実施を支援することを大きな目的としています

公開セミナー

本セミナーは、定期的にアジアPPP研究所の活動内容、役割をご紹介したり、アジア圏内で行われているPPPプロジェクトの事例研究等の情報を提供したりするために行われます。

プロジェクト・ファインディング・レクチャー

法人会員限定の活動として行われる本レクチャーでは、国際的に活動を行う会員に対し、実際のPPPプロジェクトの戦略立案、提案作成の具体的手法を紹介し、成功の秘訣を提供します。



APPPI本年度の活動予定

- 7月25日 公開セミナー
- 8月 8日 プロジェクト・ファインディング・レクチャー
- 8月下旬 キルギス共和国PPP集中講座、現地視察
- 9月 PPP集中講座(マレーシア)
- 9月 PPP集中講座(ベトナム)
- 10月17日 プロジェクト・ファインディング・レクチャー
- 11月15日 アジアPPP研究所設立1周年記念フォーラム
- 12月 5日 プロジェクトファインディングレクチャー

その他の東洋大学PPP関連活動予定

- 8月 1日 国際PPPフォーラム(大手町サンケイホール)



2012年3月にフィリピン・ブトゥアン市で開催された集中講座には市政府、民間企業等の30人の受講生に加え、ブトゥアン市のPPPユニットのメンバーが参加した



ブトゥアン市の講座でPPPの基礎をレクチャーするミラー氏



ブトゥアン市の講座でPPPについて開設する田淵所長